

数学

岐阜大学 教育学部(口)、工学部、

医学部 (医学科) (前期) 1 / 1

<全体分析>

試験時間

120 分

解答問題数

5 題

解答形式

全問論述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

5題必須. 各大問の配点比率 (%) が明記されている.

大問1題が3~5問の小問から構成されている.

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	場合の数	数学A	順列.	標準
2	ベクトル	数学B	位置ベクトル, 三角形の面積比.	標準
3	三角関数	数学II	和積の公式を利用して解を求める.	標準
4	微分法, 積分法	数学III	対数関数の微分, 積分.	標準
5	微分法	数学III	合成関数の微分. 絶対値を含む方程式の解の個数.	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

ここ数年の出題傾向を見ると、微分法・積分法、場合の数・確率、ベクトル、三角関数がよく出題されている。

問題は標準レベル中心であるので、頻出問題を繰り返し解くとよい。問題文をよく分析し、粘り強く解法を組み立てていく力と、文字を含む計算を正確に行う力が必要である。また、場合の数・確率については、正確に数え上げる力も必要とされることがある。解法を暗記するだけの学習でなく、解法の道筋をきちんと捉え、応用力を養うように心がけて学習してほしい。